

「広島県道路整備計画 2021（仮称）」の骨子案について

令和3年1月14日
道路企画課

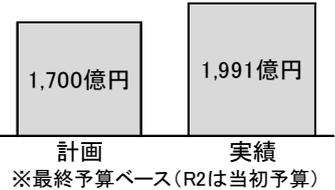
1 要旨

「広島県道路整備計画 2016」の計画期間が令和2年度で終了することから、上位計画である「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」、次期「社会資本未来プラン」と整合を図りつつ、これまでの成果や課題、社会情勢の変化等を踏まえて、「広島県道路整備計画 2021(仮称)」を策定する。

2 現行計画の取組成果

- 投資額については、国の重点対象事業や新たな補助制度等を活用し、予定額 1,700 億円を上回る 1,991 億円を確保した。
- 完成箇所については、計画 377 箇所(部分完成を含む)に対し、336 箇所、約9割の進捗率となった。一方で、投資額が計画を上回った効果として、東広島高田道路(向原吉田道路)、福山沼隈道路や一般国道 375 号(引宇根)といった大規模事業の完成が数年前倒しできたほか、次期計画期間内には、一般国道2号全線における渋滞ランキングで常に上位に位置付けられている福山地域の渋滞緩和や、三江線廃止後の地域の交通確保、地域間の連携強化といった効果が得られる見込みとなった。
- 未完成箇所のうち約7割が、用地交渉や関係者調整に期間を要したことによるものである。次期計画の策定にあたっては事前の情報収集が肝要であり、より一層の市町との綿密な意見交換が必要である。
- 成果目標については、16 指標のうち4指標が目標を達成する見込みとなり、5指標が約8割の達成度となるなど、いずれも、計画策定時点(現状値)と比べて改善や向上が図られた。

投資額(H28年度～R2年度)

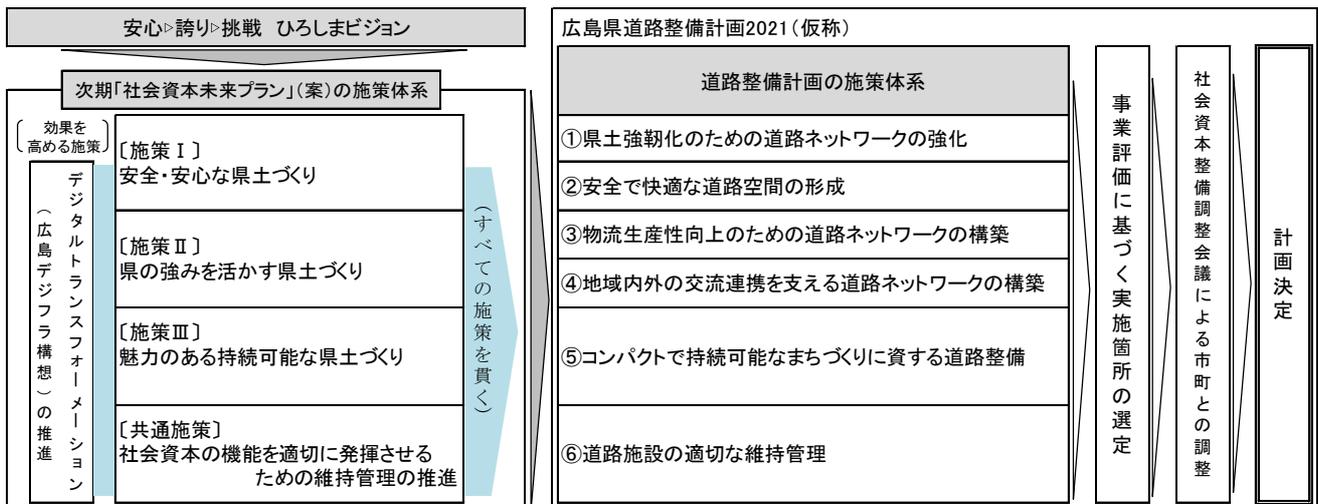


3 骨子案の概要

(1) 計画期間 令和3年度～令和7年度(5年間)

(2) 策定にあたっての考え方

- ①現行計画の取組状況や社会情勢の変化を踏まえ、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」や次期「社会資本未来プラン」の目指す姿の実現に向けて、下図のとおり重点的に取り組む施策を設定するとともに、各施策においてデジタル技術の活用を推進する。
- ②県事業の実施箇所については、施策の貢献度や事業の熟度などを考慮するとともに、地元の意見を伺いながら選定する。



4 策定スケジュール

12月	R3.1月	2月	3月
骨子案公表 ○	社会資本整備調整会議(市町調整を含む)	計画素案公表 ○	成案 ○

「広島県道路整備計画 2021（仮称）」骨子案

現行計画の取組成果

(1) 計画期間 平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）
 (2) 施策体系及び取組成果 現計画の成果目標 16 指標のうち 4 指標が目標を達成する見込みとなった。残る 12 指標のうち 5 指標が約 8 割の達成度となるなど、いずれも現計画の策定時点（現状値）と比べて改善や向上が図られた。未達成の主な理由は、完成箇所が計画を下回ったことによるものであるが、いずれの指標も、現計画策定時点と比べ、改善・向上が図られている。

施策の柱	取組の方向性	目標指標	現状値	目標値	実績 ※R1末の実績値	結果（達成度）	主な完成箇所・取組	整備効果等
広域的な交流・連携基盤の強化	・企業活動を支える物流基盤の整備 ・グローバルゲートウェイ機能の強化	①1人当たりの年間渋滞損失時間	45時間 (H24)	40時間	41時間	未達成 (80%)	一般国道2号[松永道路・木原道路]、一般国道185号[休山改良] (主) 矢野安浦線(熊野町平谷バイパス)、 (一) 三原本郷線(三原市高坂町～本郷町)	■主要渋滞箇所 [H24: 96箇所⇒R2: 89箇所] ■高速ICからの20分圏域人口 [H27: 143.2万人⇒R2: 149.8万人]
		②広島空港利用者数	271.9万人 (H26)	316.6万人	297.4万人※	未達成 (57%)		
集客・交流機能の強化	・観光周遊を促す道路ネットワークの形成	③総観光客数	6,181万人 (H26)	7,600万人	6,719万人※	未達成 (38%)	一般国道375号[唐香工区]、一般国道487号[小用BP・先典工区]、 (主) 福山尾道線(尾道市美ノ郷)、(街) 忠海中央線(竹原市忠海)、 (一) 御幸松永線・(街) 山手赤坂線(福山市山手町～津之郷町)	■広島空港からの60分圏域人口 [H27: 70万人⇒R2: 79.8万人] ■空港アクセス強化に係る山陽道の渋滞発生時の迂回ルート [新規認可 (主) 矢野安浦線] ■観光周遊ルートに該当する完成箇所における走行性向上 [改良前33.3km/h⇒改良後53.1km/h]
		④観光消費額	3,610億円 (H26)	5,000億円	4,410億円※	未達成 (58%)		
		⑤観光客の満足度	66.4% (H26)	90%	73%※	未達成 (28%)		
災害に強い道路ネットワークの構築	・緊急輸送道路ネットワークの機能強化 ・災害対応能力の向上に資する多重型道路ネットワークの形成	⑥緊急輸送道路の橋梁耐震化率 (地震により落橋・倒壊が発生しないレベルの対策)	79.6% (H27)	83%	82.3%	未達成 (84%)	一般国道375号[日山橋]、(一) 乙瀬小方線(新町陸橋)	■緊急輸送道路における防災対策済延長 [H27: 425.2km⇒R2: 454.5km]
		⑦法面災害防除対策箇所数 (平成25年度及び平成27年度の点検により対策が必要とされた550箇所)	14箇所 (3%)	230箇所	230箇所	達成	一般国道182号[神石高原町坂瀬川～福山市百谷]、 一般国道191号[安芸太田町坪野]、(主) 三原東城線(三原市八坂)、 (主) 安芸津下三永線(東広島市三津～蚊無)	
総合的な交通安全対策の推進	・通学路における交通安全対策の推進 ・交通事故危険箇所の対策	⑧通学路交通安全プログラムに基づく危険箇所の歩道設置箇所数(全体116箇所)	5箇所 (H27)	51箇所	35箇所	未達成 (65%)	一般国道2号[廿日市駅前地区]、(主) 世羅甲田線(世羅町青水)、 (主) 吉田邑南線(安芸高田市下郷)、(主) 大崎上島循環線(大崎上島町大田)	■県内の事故発生件数 [歩行者 H27: 1,150件⇒R元: 745件] [自動車 H27: 1,995件⇒R元: 1,257件]
		⑨県管理道路の事故危険箇所の対策率(全体90箇所)	68% (H27)	100%	94.4%	未達成83%	一般国道2号[尾道市尾道バイパス東口交差点]、(主) 江田島大柿線(江田島市大柿町)	
持続可能なまちづくりに資する道路整備	・渋滞を緩和する道路の整備と市街地を一体化する鉄道との立体交差化 ・豊かな地域づくりを支える道路の整備	⑩広島県における自動車CO ₂ 排出量	4,464千トン (H27)	4,460千トン	4,462千トン	未達成 (50%)	一般国道186号[御園BP]【部分供用】、一般国道313号[神辺BP]、 一般国道486号[福山市戸手、府中市中須]、(都) 駅前新庄線(庄原市中本町)	
		⑪現況1車線バス路線区間延長(交通量500台/日以上)	38.6km (H27)	36km	36.8km	未達成 (82%)	(一) 虫追廿日市線[廿日市市平良]、 (一) 下千鳥小奴可停車場線[庄原市小奴可]	■市町中心地への30分圏内人口 [H27: 147.7万人⇒R2: 148.1万人]
		⑫合併建設計画区間の改良済箇所(全体443箇所)	268箇所 (H27)	308箇所	295箇所	未達成 (68%)	(主) 吉倉油木線(神石高原町小島)、(主) 芸北大朝線(北広島町大朝)、 (一) 新市三次線(三次市西河内町・庄原市南下)、(一) 原田吉田線(安芸高田市印内～山部)	
道路機能の有効利用	・スマートICの整備等による高速道路の有効活用 ・しまなみを核としたサイクリングネットワークの形成とサイクリストの受入環境向上	⑬しまなみ海道サイクリング来訪客数	約25万人 (H26)	約35万人	約38万人※	達成	しまなみ海道自転車道無料化	■ナショナルサイクルルートの指定 (しまなみ海道サイクリングロード)
		⑭高速道路におけるIC及びスマートIC、地域活性化ICの設置間隔	10.0km (H27)	9.4km	9.4km	達成	大多田IC、福山SASマートIC、沼田PASマートIC	
道路施設の適正な維持管理	・道路施設の日常的な維持管理の適切な実施 ・道路施設の戦略的な維持管理の推進	⑮橋梁施設数に対する健全度Ⅰ、Ⅱの占める割合	87.9% (H26)	94%(R2)	92.8%(R2)	未達成 (80%)	一般国道183号[鈎橋]、一般国道433号[式敷大橋]	
		⑯トンネル施設数に対する健全度Ⅰ、Ⅱの占める割合	68.8% (H26)	100%(H30)	100%(H30)	達成	一般国道186号[飯谷トンネル]、(主) 広島空港本郷線[用倉トンネル]	

計画策定後の状況変化・課題

〈背景〉
 ○生産年齢人口の減少に伴い物流業界における労働力不足が顕在化する中で、生産性を高める必要がある。
 ○地球温暖化による気象災害の頻発・激甚化や南海トラフ地震等が懸念されている。
 ○中山間地域においては、人口減少・少子高齢化を背景とした既存産業の衰退や生活を支えるサービスの低下が懸念される。

道路に関する課題やニーズ等
<ul style="list-style-type: none"> ●主要な物流・人流ルート上においては、依然として渋滞が残存し、社会経済活動において多大な影響を及ぼしている。 ●周遊観光を促す道路ネットワーク内において、依然として渋滞箇所や狭隘区間が残存している。 ●広域周遊や観光地滞在時間増加を促す、移動時間短縮や隣接する観光地を結ぶような周遊ルートの多様化が求められている。 ●広域的な災害発生時における救助活動や緊急輸送のための道路ネットワークの確保が求められている。 ●未就学児が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を実施。 ●安全で快適な自転車利用環境の創出による豊かな地域づくりのため自転車活用推進計画の推進。 ●生活サービスを効率的に提供するための拠点機能の「コンパクト化」、地域の公共交通網再構築と高次の都市機能維持に必要な圏域人口の確保を図る「ネットワーク化」のいわゆる「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現が求められている。 ●道の駅が観光や防災など更なる地方創生を加速する拠点として機能向上の取り組みが求められている。 ●老朽化する既存インフラが更に増大していく中で、限られた財源の中で現在の機能を維持する必要がある。

安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン

(令和 2 年 10 月) 策定
 (1) 計画期間 令和 3 年度～令和 12 年度(10 年間)
 (2) 目指す姿 県民一人ひとりが「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています。

取組の方向性 (道路関係分のみを抜粋)
防災減災 ・ハード対策等による 事前防災の推進
治安・暮らしの安全 ・交通事故防止に向けた 総合対策
交流・連携基盤 ・世界と繋がる空港機能の強化 ・人・モノの流れを支える道路ネットワークの構築
観光 ・誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備
持続可能なまちづくり ・ネットワーク及び交通基盤の強化
中山間地域 ・中心地と周辺地域等の 連携を支える基盤整備

次期「社会資本未来プラン」 (現在策定中)

(1) 計画期間 令和 3 年度～令和 12 年度(10 年間)
 (2) 目指す姿 県民が様々な場面(平時から非常時に至るまで)において、「安全・安心」や「サービス(利便性・快適性・生産性)」等の向上を実感できる社会

施策体系	取組項目 (道路関係分のみを抜粋)
【施策Ⅰ】 安全・安心な県土づくり ～安全・安心を支える総合的な県土の強靱化～	○防災・減災対策の充実・強化 ○安全で快適な交通環境づくりの推進
【施策Ⅱ】 県の強みを活かす県土づくり ～交流・連携を支えるネットワークの充実・強化～	○経済・物流を支える基盤の強化 ○集客・交流機能の強化とブランド力向上
【施策Ⅲ】 魅力のある持続可能な県土づくり ～魅力的で持続可能な社会を支える基盤形成～	○コンパクトで持続可能なまちづくりの推進 ○環境保全と循環型社会の構築
【共通施策】 社会資本の機能を適切に発揮させるための維持管理の推進 ～社会資本の適切な維持管理の推進～	○デジタル技術等を最大限に活用した効果的かつ効率的な維持管理

新計画の実施方針

(1) 計画期間 令和 3 年度～令和 7 年度(5 年間)
 (2) 策定にあたっての考え方
 ①現行計画の取組状況や社会情勢の変化を踏まえ、「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン」や次期「社会資本未来プラン」の目指す姿の実現に向けて、下図のとおり重点的に取り組む施策を設定するとともに、各施策においてデジタル技術の活用を推進する。
 ②県事業の実施箇所については、施策の貢献度や事業の熟度などを考慮するとともに、地元の意見を伺いながら選定する。

施策体系	主な取組項目	主な事業箇所	デジタル技術の活用等	期待する主な効果
県土強靱化のための道路ネットワークの強化	・災害対応能力の向上に資する道路ネットワークの多重性・代替性の確保 ・緊急輸送道路における法面対策や橋梁耐震補強の推進	東広島高田道路(向原吉田道路) (主) 呉平谷線[呉市上二河～此原] 【法面対策】一般国道433号[加計工区] 【耐震補強】一般国道487号[早瀬大橋]	・デジタル技術を活用した道路法面の変状把握	災害時の交通寸断の解消
安全で快適な道路空間の形成	・通学路や生活道路等における交通安全対策の推進 ・安心して快適な自転車利用環境の整備	(主) 東広島本郷海線(東広島市中島) 一般国道375号[三次市敷名]	・ビッグデータによる事故危険箇所の把握に基づく対策	交通事故減少(歩行者・自転車)
物流生産性向上のための道路ネットワークの構築	・生産性の向上など企業活動を支える物流基盤の充実 ・グローバルゲートウェイ機能の強化に資する道路整備の推進	一般国道2号[福山道路] (主) 矢野安浦線(熊野町呉地～萩原) (都) 栗柄広谷線[府中市栗柄町～高木町]	・ビッグデータ等を活用した渋滞対策等、効果的な交通マネジメントの推進	渋滞損失時間の削減
地域内外の交流連携を支える道路ネットワークの構築	・主要都市間の連携を強化する道路整備の推進 ・観光周遊を促進する道路ネットワークの形成	(主) 鞆赤線[福山市鞆町] 一般国道432号[竹原バイパス] (一) 三原本郷線[三原市大西]	・パーク＆ライドやノーマイカー運動といったソフト対策の推進	観光地や交通結節点への移動時間の短縮
コンパクトで持続可能なまちづくりに資する道路整備	・中山間地域・島嶼部など地域を支える道路整備の推進 ・渋滞を緩和する道路の改善及び市街地を一体化する鉄道との立体交差化 ・環境にやさしい交通体系への転換	一般国道314号[東城バイパス] 一般国道375号[引字根工区] (一) 坂小屋浦線[坂町坂] (都) 広島市東部地区連続立体交差[府中町～海田町]	・自動運転やMaasの普及促進に向けた基盤整備の推進	日常生活における交通の円滑化
道路施設の適切な維持管理	「インフラ老朽化対策の中長期的な枠組み」及び「修繕方針」に基づく計画的なインフラ老朽化対策の推進	橋梁補修、トンネル補修、舗装道補修、除雪	・道路規制情報の一元化、施設台帳等のデジタル化 ・デジタル技術を活用した舗装の損傷の自動感知や、除雪作業の支援	快適な走行性の確保